

おおたん 第16号

2021年
2月12日 発行
☎52-3111

大田ふるさとづくり協議会理事会開催しました

令和3年1月18日（月曜日）大田中央公民館2階ホールにて 理事会が開催されました。主な議題と結果は次のとおりであります。

・令和2年度事業実施経過報告及び予算執行状況について

事務局から事業実施経過報告及び予算執行状況の説明がありました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため予定されていた事業のほとんどが中止となりました。

・大田地域高齢者生活困窮情報収集事業について

杵築市社会福祉協議会から受託事業として行っていた、大田地域高齢者生活困窮情報収集事業（以下生活困窮情報収集事業）が今年3月末をもって終了しますが、引き続き協議会の事業として行うことが承認されました。また、令和3年度計画している大田地域高齢者見守り訪問事業や有償サービス人材派遣事業など高齢者にやさしい事業を実施するため協議会会費として各世帯500円の協力をお願いすることが承認されました。事業の詳細につきましては、今後広報紙でお知らせいたします。

・大田ふるさとづくり協議会広報紙「おおたん」発行について

これまで、年2回の発行でしたが、協議会の活動内容を広く地域の方々へお知らせするために、令和3年1月から月1回のペースで発行することとなりました。なお、協議会ホームページからもダウンロード出来るようにいたします。

・大田地域振興計画の点検評価について

平成28年4月に協議会の活動目標を示した、大田地域振興計画を策定

しましたが、現在各計画の実施状況の点検を行っています。その結果により事業の見直しを行い、第2次大田地域振興計画を策定します。

地域からのニュース

「小野ハッスル乙女会」会食サロン

今回は小野ハッスル乙女会（安藤信子代表）の会食サロンをご紹介します。

1月20日（水曜日）午前10時から、農村文化体験交流館すずめの楽校にて地区の高齢者が集い、持ち寄り野菜等で季節の料理を皆で作り会食を行いました。本日のメニューは「ほうれん草の白和え・かしわ汁・小かぶ漬け・わかめご飯」この日も楽校長を含め9人の高齢者（60〜90代）が集まり、会食後にはビンゴゲームを楽しみました。参加者より「ここに来ると馴染みの顔に逢えて楽しみ」との事。この会食サロンは昨年11月から毎月1回開催しています。

上沓掛「野ばらの会」会食サロンの打合せ

1月21日（木曜日）午後2時から、上沓掛公民館にて地区の中高年齢女性により、調理・会食・手芸等を行い高齢者の閉じこもり、孤食を防ぎ、心身の健康づくりと地域交流を目的に2月から月1回会食サロンを開催する予定です。今回は杵築市社会福祉協議会の担当を交えた打合せを行いました。名称は「野ばらの会」代表は野上美喜子氏。初回は2月21日（日曜日）10時から予定しています。



区長会・防災士会・民生委員合同研修会

1月21日（水曜日）19時より大田中央公民館2階ホールにて、合同研修会が開催されました。

昨年11月にあんしん生活応援隊（野上美喜子代表）7名が一人暮らし高齢者等74名に「災害時の行動調査」をしたところ、大雨や台風時に高齢者に対し近所の人が声掛けをしてくれる地区とそうでない地区があり、災害時における自主防災体制が機能していないことがわかりました。そこで、今回その情報をもとに大田地域の区長会・防災士会・民生委員の3者34名が集い、行政区毎の要援護者に対する連絡及び支援体制の強化を図るため話し合いを行いました。

まず事務局より大雨や台風の際の行動について「自力で避難できる人」7%、「近所の人から声掛けがある人」78%、「近所の人から声掛けがない人」15%と結果報告があり、地域で声掛けのバラツキがあることや、区長や防災士等が地域の要援護者の状況を把握する必要があるとの説明がありました。

次に自主防災活動が活発である石丸自主防災会の取り組みを石丸自主防災会副会長の伊東健吾さんより組織の立ち上げから地域の避難訓練、災害時の要援護者に対する声掛けや避難支援等、防災体制の大切さや互助力の強化についての講話を頂きました。

最後に行政区毎に要援護者に対して声掛けを行う地域の担当者を決め、区長等にその状況が判る連絡体制をまとめた「災害時要援護者状況把握確認連絡表」の作成を行いました。



今後は、区集会（定期総会）等で連絡表を基に、災害時の連絡体制を区民へお知らせする予定です。さらに、実行し連絡体制がうまくいかなかった場合は検証を行い、改善することが必要となります。

当日、地域内唯一の女性防災士の出席があり、今後避難所等で女性の役割も重要になることから、今後、女性防災士の増員が望まれることの気づきもありました。

徒歩通学支援事業（大田小学校通学路）

1月22日（金曜日）松成校長を筆頭に、全校生徒29人と関係者で二豊ガス大田販売所から学校までの約1kmを歩いて登校しました。大田地域では、平成26年度の小学校統合以来、ほぼ全ての児童がバス通学をしています。そこで、地域の自然や人々と触れ合う機会を増やし、かつ健康でたくましい大田っ子に育ててほしいという願いから、平成28年度から大田ふるさとづくり協議会が「徒歩通学の推進」を図る目的で、毎月第3金曜日に徒歩通学の見守り支援活動を行っています。



【今後の予定】

2月18日 大田ふるさとづくり協議会理事会
3月1日 第5回広報委員会

大田中央公民館ホール
大田庁舎図書閲覧室

【編集後記】昔はよかったな。寝る時でんカギをかけたんで寝よったが、今の世の中物騒になつちな、特に一人暮らしのじいちゃん、ばあちゃん気を付けちよくれ頼むで。「必ず家の戸締まりをしましよ」事務局からのお願いです。